

課題番号23

水稻を基幹とした持続可能な複合経営の確立

～ 基盤の強化で夢もてる農業の実現を！！ ～

対象：深川市納内・東豊地区(14戸)

1 活動の背景

■地域の現状

- 水稻を中心とし畑作、園芸を含めた複合経営を展開
- 水稻及び複合品目の安定生産で所得向上を図りたい
- 令和3年より大規模な基盤整備が本格化している
- 経営規模の拡大や労働力不足に伴い、省力化技術やスマート農業技術導入への関心が高まっている

■活動の方向性

- 「地域の生産性・収益性の向上」
- 基盤整備に備えた基本技術の定着化
- 「地域後継農業者のスキルアップ」
- 省力化・スマート農業技術の導入
- ⇒ 安定生産による所得の確保

2 活動の経過

■ 具体的推進事項①「地域の農産物生産性及び収益性の向上」⇒ 対象者14戸

- 「水稻の育苗管理」、「雑草対策」の課題解決と技術の定着に向けて技術支援を行った。

■ 目標事項：基幹品目「水稻」の基本技術定着化

- 育苗管理、雑草対策定着農家戸数
現況：10戸 ⇒ 目標：12戸

個別巡回・定点ほ調査

水稻育苗のポイント

- 温度・かん水管理
- 育苗日数の適正化
- 適期移植

雑草対策のポイント

- 薬剤選定・体系処理
- 水管理・漏水対策
- 発生状況の確認



保温資材を比較してるけど、何か違いは出るかなー？

写真1 育苗巡回で農業者と生育確認

■ 具体的推進事項②「地域を担う農業者のスキルアップ」⇒ 対象者9戸

- 地域後継農業者9戸が設定した自己課題の解決に向けて技術支援を行った。

■ 目標事項：課題実践による技術力の向上

- 自己課題の実践・定着農家戸数
現況：7戸 ⇒ 目標：8戸

個別巡回・個別相談
研修会・講習会

課題設定のポイント

- 自己の経営に役立つもの
- 自己の資質向上を図るもの



省力化栽培に取り組みたい！

写真2 自己課題設定の協議



うまく省力化してるな～

写真3 視察研修での意見交換

3 成果の具体的内容

■ 基幹品目「水稻」の基本技術定着化 ⇒ 対象者14戸

○育苗管理、雑草対策定着農家戸数 **目標：12戸 ⇒ 実績：10戸**

到達度：83%

表1 対策内容と評価 (R4年)

区分	内容	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
育苗管理	温度管理・水管理	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
	育苗日数 (は種始～移植始)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
雑草管理	適期防除・水管理	○	○	○	△	△	×	×	×	○	○	○	○	○	-
	体系処理 (シズイ等対応者)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	-
初期生育	200本/㎡以上 (6/20現在)	△	○	○	○	×	○	×	△	○	○	○	○	○	-
適正粒数	3万～4万粒/㎡	△	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△	○	-
収量	目標：600kg/10a	580	688	650	650	760	670	576	500	769	683	537	566	579	-

※評価基準について
 【育苗管理 (温度管理・水管理)】本人申告による
 【育苗管理 (育苗日数)】
 ×：30日以上、○：30日未満
 【雑草管理 (適期防除・水管理)】
 ×：漏水等による掛け流し
 △：中干しのタイミングによる残草が多い
 【初期生育】 ×：150本/㎡以下、△：200～150本/㎡
 【適正粒数】 ×：2.5万粒/㎡未満
 △：2.5万粒/㎡以上3万粒/㎡以下、4万粒/㎡以上



写真4 籾の浸漬状況は上々



写真5 苗の生育状況は良好



写真6 除草剤の使用方法等は適正

■ 課題実践による技術力の向上 ⇒ 対象農業者9戸

○自己課題の実践・定着農家戸数 **目標：8戸 ⇒ 実績：8戸**

到達度：100%

スキルアップでの声
 ・省力化技術をさらに高めたい！
 ・将来に向けた対話や研修をしたい！

- ・自己課題を設定し取り組んだ。
- ・基盤整備後に省力化技術などの導入を計画していることもあり技術習得に意欲的に取り組んだ。
- ・視察研修には関係機関の参加もあり、活発な意見交換が行われた。

表2 担い手9戸の自己課題と評価

区分	農業者	課題名	経営に対する自己評価 (R3～R4)			今後の対応		
			重要度	貢献度	定着度	満足度	継続	終了
水稻の基本技術	F	ケイ酸資材の導入	4	4	4	12		○
	L	なたぼしの新規導入	5	4	4	13	○	
水稻の省力化技術	D	密苗栽培の技術向上	5	5	5	15	○	
	M	直播栽培の技術向上	5	5	3	13	○	
	I	疎植栽培の技術向上	3	4	3	10	○	
スマート農業技術	H	水位センサー活用と適正水管理	4	4	2	10	○	
	C	水田の自動水管理	4	4	3	11	○	
	K	ドローンの基本操作	3	3	1	7	○	
経営管理技術	A	経営シミュレーション	5	5	4	14	○	



写真7 水位センサーの設置



写真8 視察研修での学習



写真9 対象者との課題協議

4 今後の課題と対応

■ 地域の農産物生産性及び収益性の向上

- 育苗管理技術は定着化が進んできているため、今後も維持に努める。
- 雑草対策が未達であった農業者では、除草剤の散布方法などを再確認し技術の定着に向ける。

■ 地域を担う農業者のスキルアップ

- 基盤整備後の安定生産に向けた省力化技術やスマート農業技術への支援を継続する。
- 関係機関と省力化技術などの情報を共有し、基盤整備前後の営農支援に向けて協議を図る。